【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年4月3日(2025.4.3)

【公開番号】特開2024-174160(P2024-174160A)
【公開日】令和6年12月13日(2024.12.13)
【年通号数】公開公報(特許)2024-234
【出願番号】特願2024-172737(P2024-172737)
【国際特許分類】
Ａ４５Ｃ 11/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４５Ｃ 11/04 Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月26日(2025.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の液体が収容される有底筒状形状の容器本体と、該容器本体の上部開口部に着脱可能に取り付けられて、該容器本体の内部に密閉空間を形成し得るキャップ部材と、該キャップ部材の内側に取り付けられ、収納対象となるソフトコンタクトレンズを保持して、前記容器本体の上部開口部を通じて差し込まれ、該容器本体内の収容液体中に浸漬されるレンズホルダとを有する収納ケースにして、
前記レンズホルダが、前記キャップ部材の内側に位置固定に保持されるホルダ基部と、該ホルダ基部に連結されて、下方に垂下するように延びる所定幅の板状のホルダ本体と、かかるホルダ本体に対して、板面から突出せる形態において一体的に設けられ、前記容器本体の内周面との間に前記ソフトコンタクトレンズを収容し得る隙間を形成する、該ソフトコンタクトレンズが載置されるドーム状乃至は球状のレンズ台座部と、該レンズ台座部の上側及び下側に位置する前記ホルダ本体の部位にそれぞれ設けられた上側壁部及び下側壁部から構成され、両側部が解放されてなる構造を呈するレンズ収容壁部とを有し、
且つ該レンズ収容壁部の上側及び下側壁部が、前記容器本体の内周面との間の隙間から前記収容空間内のソフトコンタクトレンズが抜け出さない高さにおいて、立設されていると共に、
前記ソフトコンタクトレンズの収容空間が、蓋部材を用いた覆蓋によることなく、前記レンズ台座部と該レンズ台座部に対向する前記容器本体の内周面と前記レンズ収容壁部とによって画成されていることを特徴とするソフトコンタクトレンズ用収納ケース。
【請求項２】
所定の液体が収容される有底筒状形状の容器本体と、該容器本体の上部開口部に着脱可能に取り付けられて、該容器本体の内部に密閉空間を形成し得るキャップ部材と、該キャップ部材の内側に取り付けられ、収納対象となるソフトコンタクトレンズを保持して、前記容器本体の上部開口部を通じて差し込まれ、該容器本体内の収容液体中に浸漬されるレンズホルダとを有する収納ケースにして、
前記レンズホルダが、前記キャップ部材の内側に位置固定に保持されるホルダ基部と、該ホルダ基部に連結されて、下方に垂下するように延びる所定幅の板状のホルダ本体と、かかるホルダ本体に対して、板面から突出せる形態において一体的に設けられ、前記容器本体の内周面との間に前記ソフトコンタクトレンズを収容し得る隙間を形成する、該ソフ

トコンタクトレンズが載置されるドーム状乃至は球状のレンズ台座部と、該レンズ台座部の上側及び下側に位置する前記ホルダ本体の部位にそれぞれ設けられた上側壁部及び下側壁部から構成され、両側部が解放されてなる構造を呈するレンズ収容壁部とを有し、

且つ該レンズ収容壁部の上側及び下側壁部が、前記容器本体の内周面との間の隙間が２ｍｍ未満となる高さにおいてそれぞれ立設されて、かかる隙間から、前記収容空間内のソフトコンタクトレンズが抜け出さないように構成されていると共に、

前記ソフトコンタクトレンズの収容空間が、蓋部材を用いた覆蓋によることなく、前記レンズ台座部と該レンズ台座部に対向する前記容器本体の内周面と前記レンズ収容壁部とによって画成されていることを特徴とするソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項３】

所定の液体が収容される有底筒状形状の容器本体と、該容器本体の上部開口部に着脱可能に取り付けられて、該容器本体の内部に密閉空間を形成し得るキャップ部材と、該キャップ部材の内側に取り付けられ、収納対象となるソフトコンタクトレンズを保持して、前記容器本体の上部開口部を通じて差し込まれ、該容器本体内の収容液体中に浸漬されるレンズホルダとを有する収納ケースにして、

前記レンズホルダが、前記キャップ部材の内側に位置固定に保持されるホルダ基部と、該ホルダ基部に連結されて、下方に垂下するように延びる所定幅の板状のホルダ本体と、かかるホルダ本体に対して、板面から突出せる形態において一体的に設けられ、前記容器本体の内周面との間に前記ソフトコンタクトレンズを収容し得る隙間を形成する、該ソフトコンタクトレンズが載置されるドーム状乃至は球状のレンズ台座部と、該レンズ台座部の上側及び下側に位置する前記ホルダ本体の部位にそれぞれ設けられた上側壁部及び下側壁部から構成され、両側部が解放されてなる構造を呈するるレンズ収容壁部とを有し、

且つ該レンズ収容壁部の上側及び下側壁部が、前記容器本体の内周面との間の隙間から前記収容空間内のソフトコンタクトレンズが抜け出さない高さにおいて、立設されていると共に、

前記ソフトコンタクトレンズの収容空間が、蓋部材を用いた覆蓋によることなく、前記レンズ台座部と該レンズ台座部に対向する前記容器本体の内周面と前記レンズ収容壁部とによって画成されており、

そして、前記レンズ収容壁部の上側及び下側壁部に、それぞれ、切欠き及び／又は孔部を設けて、前記レンズホルダを前記容器本体内の収容液体中に浸漬したり或いはそれより引き上げたりしたときに、それら切欠き及び／又は孔部を通じて、前記収容空間内の液体や気体が外部に排出され得るように構成したことを特徴とするソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項４】

前記レンズ収容壁部の上側及び下側壁部と前記容器本体の内周面との間の隙間が、２ｍｍ未満であることを特徴とする請求項３に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項５】

前記容器本体が、横断面が円形の内周面を有する有底円筒形状を呈するものであると共に、前記レンズ収容壁部を構成する前記上側壁部及び前記下側壁部が、それぞれ、平面視において円弧形状を呈する形態において、設けられていることを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか１項に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項６】

前記切欠き及び／又は孔部が、それぞれ、前記上側壁部及び前記下側壁部の円弧形状の中央部に設けられていることを特徴とする請求項５に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項７】

前記レンズ収容壁部の上側及び下側壁部が、それぞれ、その円弧形状の中央部位から両端部に向かって漸次高さが低くなるように、形成されていることを特徴とする請求項５又は請求項６に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項８】

前記容器本体が、横断面が矩形の内周面を有する有底角筒形状を呈するものであると共に、前記レンズ収容壁部を構成する前記上側壁部及び前記下側壁部が、それぞれ、水平方向に延びる水平壁部と該水平壁部の両端部から上下方向にそれぞれ所定長さで延びる側壁部とから構成されていることを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか１項に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項９】

前記容器本体の内周面の矩形形状における四つの角部が、それぞれ、外方に凸なる形状の湾曲部として構成されていることを特徴とする請求項８に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項１０】

前記ホルダ本体に対して、その上下方向に位置するように、前記レンズ台座部の二つが直列に配置され、それら二つのレンズ台座部に対して、左眼用及び右眼用の２枚のソフトコンタクトレンズがそれぞれ載置せしめられるようになっていることを特徴とする請求項８又は請求項９に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項１１】

前記ホルダ本体の二つが、前記ホルダ基部の相対向する位置に、互いに平行となるようにしてそれぞれ配設されていると共に、それら二つのホルダ本体の対向方向反対側となる外側の面に、それぞれ、前記レンズ台座部と前記レンズ収容壁部とが突出するように設けられて、左眼用及び右眼用の２枚のソフトコンタクトレンズがそれぞれ収容、保持され得るようになっていることを特徴とする請求項１乃至請求項９の何れか１項に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項１２】

前記容器本体の底部内面に、間隔保持突起が配設されており、該間隔保持突起が前記二つの互いに平行なホルダ本体の下端部間の間隙内に嵌入されて、それら二つのホルダ本体間の間隙が規定されていることを特徴とする請求項１１に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項１３】

前記間隔保持突起が、前記二つのホルダ本体の下端部が当接せしめられる台座部と、該台座部上に設けられて、前記二つのホルダ本体の下端部間に挿入、位置せしめられる円錐形状部とから構成されていることを特徴とする請求項１２に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項１４】

前記ホルダ基部と前記二つのホルダ本体とが一体成形品にて構成されていると共に、それらホルダ基部と二つのホルダ本体との連結部が薄肉のヒンジ部とされて、かかるヒンジ部において回動せしめられることにより、それら二つのホルダ本体が互いに平行に対向位置させられ得るように構成されていることを特徴とする請求項１３に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項１５】

前記二つのホルダ本体を相互に連結し、それらの間の間隔を維持する連結手段が、設けられていることを特徴とする請求項１１乃至請求項１４の何れか１項に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。

【請求項１６】

前記連結手段が、前記二つのホルダ本体の下端部の一方に設けた筒状部と、それら下端部の他方に設けたピン部とから構成され、該筒状部の筒内に該ピン部が差し込まれることによって、該二つのホルダ本体の間隔が保持され得るように構成されていることを特徴とする請求項１５に記載のソフトコンタクトレンズ用収納ケース。